

2024.11

第82号

# 郡上市

## 議会だより



題字「郡上市」は、郡上市立牛道小学校6年生の作品です。

「郡」 おおたき 大瀧 ななこ なな子 さん  
「上」 やまだ 山田 なな 菜奈 さん  
「市」 すみ 鷺見 こあん 心杏 さん



牛道小学校で大切に育てた「人権ひまわり」の花と子どもたち

より開かれ  
信頼される  
議会をめざして

### 目次

令和5年度決算認定	2
決算認定特別委員会Q&A	4
9月定例会 主な内容	7
委員会活動報告	8
一般質問〈郡上の課題を問う〉	11
クイズの答え・皆さんからの声	19
クイズコーナー・編集後記	20

# 新たなステージに向けた施策

## 令和5年度 各会計の決算額

一般会計	歳入	314億6215万円 (7億7153万円増額)
	歳出	302億8744万円 (10億5578万円増額)
特別会計	歳入	114億6166万円 (1億1319万円増額)
	歳出	110億7141万円 (290万円増額)
水道事業会計	純利益	4949万円 (680万円増額)
下水道事業会計	純利益	4893万円 (1735万円増額)
病院事業会計	純利益	△4億9万円 (7610万円減額)

※金額の△はマイナスを表しています  
 ※( )は令和4年度の決算額との比較です  
 ※水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は一般会計からの繰入れを含みます

## 決算の概要

令和5年度の一般会計決算額は、歳入314億6215万円、歳出302億8744万円となった。令和4年度と比較して、歳入で7億7153万円の増、歳出は10億5578万円の増となり共に増額となった。

歳入については、市税293万円の増、地方交付税2億5050万円の減、国庫支出金2億7652万円の増、県支出金2億9027万円の減となった。

財政健全化の指数である実質公債費比率<sup>※1</sup>は、前年度より0.3ポイント低い11.1%となり、将来負担比率<sup>※2</sup>も1.8ポイント低い68.3%となり共にわずかに改善された。

※1・・・年間の借金返済額の割合。  
 ※2・・・将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合。

## 環境・防災・社会基盤

- 市内7か所に監視カメラを設置し、不法投棄の抑制を図った
- 食品ロスの削減のため「郡上もったいないプロジェクト」の推進、自発的なごみ拾いを促進するため「ごみゼロ」市内一斉清掃を実施



市内で行われたごみゼロ活動での清掃

## 健康・福祉

- 保育園の送迎用バスに対する安全装置の整備を義務付ける関係府省令等の改正により、公立保育園の送迎バス14台に車内置き去り防止装置を設置
- 大和町の小学校統合にあわせて、大和地域で実施している2つの児童クラブも統合するため、小学校に隣接する子育て活動拠点施設を建設

# 市政施行から満20年、

- 物価高騰などに直面する子育て世帯の経済的負担軽減のため、子育て世帯生活支援特別給付金として、一人あたり5万円を支給
- 少子化傾向に歯止めをかけるために、令和5年4月1日以降に第2子以降が生まれた世帯に第2子以降出産祝金10万円を支給
- 進学や就職などの準備費用に対する経済的負担の軽減を図るため、高等学校就学準備等支援事業として中学3年生の保護者に対して、一人あたり3万円を支給



大和小学校に隣接された子育て活動拠点施設

## 教育・文化・人づくり

- 児童・園児の送迎バスへの安全装置の設置が義務化されたことに伴い、安全確保のためにバス26台に安全装置を設置
- 令和6年度の国民文化祭の開催に向けた準備として、「短歌の祭典」の募集要項の作成と、プレイベント「古今伝授の里短歌大会」と「短歌道場」を実施
- 八幡城天守の耐震補強工事、防災設備工事、内部展示改修を行い、想定される地震に耐えうる強度を確保し、天守内部の展示をリニューアルして、八幡城の魅力を向上

## 自治・まちづくり

- 郡上市合併・市制施行満20年を迎えるにあたり、公募による記念ロゴマークを作成、記念映像や記念冊子の作成、各種啓発物の作成・配布などを実施



公募から選ばれた記念ロゴマーク

- ふるさと寄附の返礼品を市の魅力を発信するシテップロモーション媒体と捉え、公募による返礼品の拡充に努めた



郡上ふるさと寄附のサイトはこちら

## 産業・観光振興

- 原油高・物価高騰が進む中、エネルギー価格高騰の影響を受けている事業者の事業継続の下支えを目的に、郡上市エネルギー価格高騰対策支援（2回合計1953件）を実施
- 市内のキャッシュレス決済を推進するため、電子商品券「郡上ふるさとコイン」（総発行額4464万円）を発行
- 郡上おどりin京都、郡上おどりin青山等のおどりキャンペーンを実施し、年間を通して観光PRを実施した。新たに北陸方面をターゲットにした郡上おどり・白鳥おどりin金沢、またin越前おおのを令和4年に引き続き開催、観光入込客数533万1399人で昨年より54万7297人の増加
- 郡上八幡城の再建90周年記念事業として、郡上八幡ふるさとまつりにおいて郡上歴史絵巻（武將隊による歴史行列・歴史劇）を実施

委員長に原善与美委員、副委員長に長岡文男委員を選出し、9月9日、10日、11日の3日間にわたり審査しました。本会議最終日に委員長が報告したのち、採決し認定しました。

## 歳入

**問** 公的証明書のコンビニ交付サービスは窓口交付より3分の1安く交付しているが、利用はあったのか

**答** 証明書交付件数は3万2871件で、コンビニ件数は全体の11%となっている。減額措置は、本年度末をもって廃止予定。

## 歳出

**問** 役職のある人は、パワーハラスメントの研修を受けているのか

**答** 令和2年度に部長級、課長級、令和3年度に係長級を対象として、段階的にハラスメントの研修を行っている。

**問** 高校生以下の医療費は無料となっているが、病院に診察に行く時間帯は時間外が多いのか

**答** 圧倒的に時間内の受診が多い。小児科においては、仕事を終えて、17時半から19時ぐらいに連れてみえる方もある。

**問** 今後のダンボールコンポストの活用は

**答** 水分を多く含む生ごみの削減策として、ダンボールコンポストでのたい肥化を推進している。「郡上市食品ロス削減推進計画」の普及啓発に努める。

**問** 狩猟で有害鳥獣駆除をする時に弾、鉄砲、車、ガンリンも使う。何らかの補助はないのか

**答** 今年度、猟友会に協力いただき国から特別捕獲という事業を実施した。報奨金が、1頭1万8000円になる事業であり、1か月で事業費を執行した。捕獲の単価を上げることによりモチベーションが上がると実証された。弾代などが上がっていることで、捕獲の報奨金を上げることにも検討したい。

**問** 外国人観光客誘致事業の継続的な活動はするのか

**答** 4月に郡上ガイド協会を設立した。インバウンドに向け継続的に実施する。

**問** キャッシュレス決済の使用が少ない。このまま続けるのか

**答** 今年度はシステムの利便性を改善した。市内でのお金の循環を目指す観点で今後も取り組む。

**問** 危険なブロック塀の撤去事業の状況は

**答** 通学路や緊急輸送路など特殊な道路沿いについては国県の補助で執行している。それ以外については、市の単独補助で行っている。毎年通学路の状況が変わってくるので、今後も継続する。

**問** 郡上八幡まちなみ交流館の裏の土地の今後の活用は



まちなみ交流館 (八幡町殿町)

**答** 裏の土地の試掘調査を実施しているが、市では近代の埋蔵文化財の発掘調査はできない。

調査依頼を行い成果も発表したい。

**問** ジェネリック医薬品の普及啓発についての取組みは

**答** 高額な医薬品を使用される方には、ジェネリック医薬品を使用した方が安くなる試算をした通知を年2回行っている。

**問** 水道料金の回収率はあまり良くない。経営収支比率は100%を超えているがどういことか

**答** 企業会計の概念として水道事業で賄う経費は、すべて料金で賄う形が本来であるが、現在の市の料金設定はおおよそ回収率60%台である。

不足する部分は一般会計からの繰出金などで補填し、経常収支比率は100%になっている。市の水道料金は他の市などに比べて大変安価になっている。料金改定の部分については検討している。

郡上市議会では、各常任委員会でテーマを決めて行政評価を行っており、テーマに関連する事業について決算認定特別委員会において委員長が代表して質問しました。その答弁を参考に、委員会で評価を取りまとめ、必要な事項は議会からの政策提言として市長に提言する予定です。

## 総務常任委員会

テーマ「個性あふれる

まちづくり」

ひと・まちづくり推進事業

問 学生を対象にした事業であるがプログラムの視点は

答 中・長期的な視点においては、進学などで市外へ出ていった若者がUターンし、郡上を担う人材になってほしいこと、短期的な視点では、興味を持ったテーマについて深掘りし、大学の総合型選抜入試などに役立ててほしいことを目指して具体的なプログラムを組み立てている。

問 費用対効果をどのように考えているか

答 主に小学生を対象とした「サイエンス×ICT講座」は参加者15名で1人当たり約6万円、高校生を対象にしたワークショップ「起業講座×ICT講座」



サイエンス×ICT講座に参加する小学生たち

は、参加者210名で、1人当たり約4000円、「クリエイター講座」は11名参加で1人当たり約18万円、郡南中学校の114名の生徒を対象とした「SDGs源流education講座」は、1人当たり約1万8000円となっている。単純に参加者数で割りもどし算出したものではない。アップグレードや見直しを行っていく。

## 産業建設常任委員会

テーマ「地域資源活用の産業」

造林推進事業

問 森林環境譲与税の活用を模索し、継続的な事業拡大を望むが

答 譲与税は既存事業に充てることはできないため、今後の森林づくりに必要な主伐・再造林事業を新設し、譲与税を充当できるように見直した。森林経営管理制度による森林整備を推進することが予想されるため、事業拡大は慎重に検討する。

小規模森林整備事業

問 新規利用者の増加を図るための広報活動は

答 年度当初に広報紙で案内している。事業推進する一方で、小規模の森林を個々で実施することとは効率性、コスト面で不利になることもあることから、規模拡大の森林経営計画及び森林経営管理事業への誘導を図る。

森林経営管理事業

問 所有者の不明や関心の低さが

増す中で、譲与税の有効活用とマネジメント協議会への活動強化のための対策は

答 本事業は所有者の探索、意向調査、境界確認、現況調査を経て森林整備を行う必要があり、相当の労力と経費が必要とされる。

市ではこの準備作業を、協議会に委託してスムーズな事業推進を図ってきた。今後も協議会の若い人の増強、人材育成を行い、市内事業者の育成を担っていただきたいと考えている。



森林の境界確認作業中の現場

生活保全林整備事業

問 地域を巻き込んだるの事業推進と伐採木の搬出、活用の検討は

答 人家周辺を最優先に事業を進めているが、伐採木の有効利用には搬出の容易な所は地主と相談して進めている。人家近くは搬出が難しく課題も多いが、検討していく。

### 文教民生常任委員会

#### テーマ「子育て支援の充実」

#### 養育支援訪問事業

問 本事業を担当する会計年度任用職員の有資格者に対する賃金引上げは

答 特定事業に従事する職員のみ賃金を引き上げるとは考えていない。また同一事業の中で、資格の有無で差はつけていないが、根拠としている職員給与は、令和4年度、5年度は引上げ改定がなされているので、会計年度任用職員の賃金も引き上げられている状況である。

#### 地域子育て支援拠点事業

問 子育て支援センターと私立保育のサービスや成果の課題について共有できているのか

答 公立、私立園の子育て支援担当者とは各児童館職員による子育て支援担当者会議を年3回実施し、情報の共有や課題を話し合い、各園等での活動につなげている。

#### 情報誌「わわわ」の使いやすさの改善を今後どう考えているか

答 健康づくりの推進のための地区組織を育成する事業と考えており、継続したいと考えている。改善すべき点についての協議検討も重ねたいと思っている。

答 意向調査などは行っていないが、支援の場等で意見を聞き、継続して改善の検討をしている。

今後は、SNSを活用した情報発信も検討したい。



毎月発行される通信「わわわ」では、様々な子育て情報が発信されている



こちらから「郡上市子育て支援サイト わわわ」をご覧ください

#### 次世代育成支援事業

問 母子成人保健推進員の育成、活動支援の改善を考えているか

答 健康づくりの推進のための地区組織を育成する事業と考えており、継続したいと考えている。改善すべき点についての協議検討も重ねたいと思っている。

#### 一般会計・特別会計

財政力指数は前年度と同様の0.323となったが、経常収支比率は3.1ポイント悪化し86.9%となった。基金積立金は、前年度末残高より約1億6千万円減少した。引き続き財源の確保に努められ、基金残高の安定を図っていただきたい。

合併後20年が経過し、厳しい財政状況の中で公共施設の適正配置、医療改革などの重要課題が山積しているが、「誰もが安心して暮らせる郡上」を目指して健全な財政運営が維持できるよう、事業の重要性や有用性について十分検証していただきたい。

#### 水道事業会計

前年度と比較して年間給水量は僅かに増加したが、給水人口は減少した。有収率は78.9%であり、施設の老朽化に伴い有収率の低下が懸念されるため、引き続き老朽管路等の更新・耐震化事業の計画的・継続的な推進が望まれる。今後は、適正な料金の見直しを視野に入れた、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取組み、より効率的な経営を展開されるとともに、良質な水の安定供給に努めていただきたい。

#### 下水道事業会計

使用料の収納率が99.6%と高く、未収金の新規発生防止及び精力的な滞納整理の取組みがうかがえる。下水道統合整備事業は令和7年度をもって一旦区切を迎える予定となっているが、引き続き持続可能な下水道サービスの

提供に努めていただきたい。

#### 病院事業会計

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に緩和され、郡上市民病院の療養病床の再開、国保白鳥病院の入院患者の増となったものの、感染症関連の特例加算の縮小、廃止及び補助金の終了などによって全体として収益は減少した。さらに、給与費の増や物価高の影響など費用の増により厳しい決算状況となった。

結果、両病院とも今年度決算及びこれまでの欠損金の累積により純資産額が非常に乏しい財政状態であり、近い将来に債務超過となることが予想される。業務の見直し、効率化、及び人員の配置の見直しなど抜本的な経営の健全化に努められたい。また、医師・看護師等の医療従事者の持続的な確保と医療に対する安全性・信頼性の確保、医療水準の維持・向上を図り、地域の中核を担う医療機関としての役割を果たされるよう期待する。

#### 財政健全化判断比率等

実質公債費比率と将来負担比率については、順調に改善しているが、実質公債費比率は今後上昇すると見込まれ、更なる公債費負担の軽減を図っていく必要がある。

今後も、地方債の新規借入額の抑制や交付税参入率の高い地方債の活用など市債残高の着実な縮減などに取組み、健全な財政運営に努めていただきたい。

郡上市監査委員 神谷 公眞  
田代まさよ

## 令和5年度 歳入歳出決算審査意見書 (抜粋)

# 9月定例会

## 人事案件

(全会一致)

### ● 人権擁護委員候補者の推薦

- 細川竜弥 (八幡町) 任期3年
- 谷口英弘 (白鳥町) //
- 羽土 聡 (白鳥町) //
- 丸井祐子 (白鳥町) //
- 大林稻子 (明宝) //

## 条例の廃止・一部改正

(全会一致)

### ● 郡上市霊柩車の管理に関する条例の廃止

市が所有する霊柩車を廃止する

### ● 郡上市斎場の設置及び管理に関する条例の一部を改正

斎場施設再編行動計画に基づき、利用実績のない大和斎場及び高鷲斎場を令和6年11月30日で廃止する

### ● 郡上市美並都市交流促進施設フォレストパーク373の設置及び管理に関する条例の一部を改正

利用者の減少および老朽化しているパターゴルフ施設を廃止し、新

たにキャンプのテントサイトやイベント会場などで利用する多目的広場として利用拡大を図る

### ● 郡上市国民健康保険条例の一部を改正

令和6年12月2日よりマイナ保険証に切り替わり健康保険証が廃止されるため、「健康保険証の返還に応じない者に対する過料」の規定が削除

## 令和6年度一般会計補正予算

(全会一致)

8億9943万円増額

### 主な補正予算の内容

#### ● 市役所本庁舎等ZEB化事業

本庁舎空調等の更新・周辺駐車場整備

3億5431万円増額

#### ● 古今伝授の里運動公園グラウンド整備

グラウンド土(グリーンサンド)入れ替え整備

1499万円の増額

#### ● 定額減税補足給付金

給付金対象者及び支給額の精査

3822万円増額

#### ● 消防署の非常用発電機更新

北消防署及び南出張所の非常用発

電機更新工事

2448万円増額

### ● 子ども未来戦略に基づく児童手当の拡充

制度改正に伴う支給拡充

9920万円増額

## 令和5年度決算認定

(全会一致)

一般会計、17特別会計及び3企業会計の決算認定(詳細は2〜4ページ)

## 財産の取得・処分

(全会一致)

畜産担い手育成総合整備事業により、岐阜県農畜産公社が整備した肥育牛舎(家畜保護施設)を一時的に市が取得し、農家に売却

## 請願

(賛成少数で不採択)

### ● 「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願」

### ● 「健康保険証の存続を求める意見書を国へ提出することを求める意見書」

### ● 「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する請願」

## 意見書

(賛成多数で可決)

### 「選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書」

#### 《意見書の要約》

現行民法は、婚姻時に夫婦のいずれか一方の姓に改める事としているが、家族や婚姻への価値観が多様化している現在において、望まない改姓を余儀なくされる事態は女性だけではなく男女共通の問題となっている。しかし、選択的夫婦別姓制度の導入については日本人全体の問題としての十分な議論が行われていないのが現状であるため、多様性を認める社会、男女共同参画などの観点から、社会に開かれた形で選択的夫婦別姓制度の議論を進めるよう求める。  
〔提出先〕

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣



総務常任委員会

市民協働センターとの

意見交換会

総務常任委員会では、人口減少化社会における「個性あふれるまちづくり」をテーマに調査研究を進めていますが、今回、平成24年に市民の皆さんと行政が「協働」と「補完」によるまちづくりを強力に推進していくため大和庁舎内に設置された「市民協働センター」を8月2日に訪問し、現在の運営状況や各地域の課題について意見交換しましたので、質問形式にて報告します。

設置から12年を経過して運営上の

課題は

運営は「市民協働センター運営委員会」が市からの委託を受けて行っていますが、内容の多様化、事業量の増大などにより人材不足や事務の煩雑を解消するため、市内の関係法人との統合を検討しています。

Good郡上プロジェクト事業などへのアドバイザー派遣は

主に中学校の授業においてアドバイザーを派遣しています。令和5年度は「郡上の未来を創るアイデアコンテスト」の授業に延べ80名、実現アドバイザー4名、セミナー講師で

5名の派遣実績があります。

昨年度自治体アンケートを実施されたが、そこから見えてきたものは

一番の課題は、担い手の不足・育成に関する事です。1年任期の自治体では、その場しのぎの自治体運営になりがちで、じっくりと課題を分析して活動に活かすためには2年以上の任期を推奨したい。各自治体には、アンケート結果と自治体体制支援プログラムを案内しているのでセンターへご相談ください。



「アイデアコンテスト2023」の発表会の様子

産業建設常任委員会

本委員会では8月5日から6日までの1泊2日で、富山県内において行政視察を行いました。

8月5日▼富山県富山市

富山地区広域圏クリーンセンターの活動状況について

県内の50%ほどのエリアを占める2市2町1村で構成されている、広域事務組合で地域の廃棄物の収集、処理を行っており、大規模な施設で作業を進めています。

廃棄物の種類によっていくつかの施設が設置しており、広域的な組織だからこそできる運営形態だと感じました。

全国的な人口減少の中にあつて、広範囲の自治体が協力して同広域事務組合のような取組が必要だと強く感じました。

8月6日▼富山県南砺市

県立南砺平高等学校における郷土伝統芸能の若年層への普及について

山間の小規模な学校ですが、地域に伝わる郷土芸能を探索的な学習に加えて、部活動でも積極的に取組み多くの生徒が習得しています。

現在は全国的に知られている素晴

らしい学校であり、生徒たちは生き生きとして伝統ある郷土芸能を練習していました。

8月6日▼富山県南砺市

環境に優しい農業振興について

南砺市は行政主体で有機農業を行う農家の育成に力を入れています。有機農業で生産された農産物は、ブランド品として有利販売できるように、生産から販売までを行政が支援していることに驚きました。有機農法でのブランド品の生産や農家の育成には、腰を据えた指導や支援が大切だと感じました。



南砺市役所にて有機農業についての説明を受ける

文教民生常任委員会

管内視察 (意見交換会)

本委員会では、7月18日から8月30日までの間に、市内の文教関係9施設を訪問しました。

また、郡上市社会福祉協議会や私立・公立の幼保こども園長との意見交換を行いました。

郡上市社会福祉協議会

デイサービスセンターやまと、介護相談センター、みずほ園、おれんじはうすを訪問し、各施設の目的に応じた利用状況などについて説明を受けました。午後からは、社会福祉協議会の8名と、事業推進における課題などについて意見交換を行いました。

郡上市立大和小学校

令和6年4月に4校が統合して開校した大和小学校を訪問しました。同校は、災害時の避難所としても利用できるよう、防災備蓄倉庫やマンホールトイレなど、防災機能が強化されているとの説明を受けました。

放課後児童クラブ

春に、大和小学校に隣接した郡上市子育て活動拠点施設が新設されました。

この施設では、放課後や長期休暇

に児童を預かる事業を、NPO法人郡上市放課後児童クラブが運営しており、事業の概要や活動状況について説明を受けました。

若宮家住宅及び周辺施設

岐阜県重要文化財に指定されている若宮家住宅の主屋を中心に周辺を視察し、現在の状況などについて説明を受けました。

私立及び公立の幼保こども園長との意見交換会

市内の園長15名から、それぞれの園の特徴や課題について報告がありました。少子化による園児数の減少や、職員不足による負担増などの課題が挙げられ、公立園の統廃合や民営化についても意見が出されるなど、今後に向けた活発な意見交換が行われました。



社会福祉協議会との意見交換会にて事業計画の説明を受ける

議会改革特別委員会

今春の市議選を経て、議会改革特別委員会が再設置されました。

議会改革特別委員会に課せられた具体的な調査研究事項は、

- ① 適正な議員定数
  - ② 議員選出監査委員のあり方（地方自治法改正により選任義務付けが緩和されたため）
  - ③ 議会基本条例の検証
- 以上3点です。

郡上市議会議員は、合併時にそれまでの7町村で90人置かれていた議員を18人まで削減しました。また、日当の廃止、議会基本条例の制定、この条例に基づく活動として事務事業

評価や市長への政策提言、さらにはタブレット端末の導入（ペーパーレス化）など常に改革に取り組んできたところです。

今回の課題では「議員定数を何人にするか」が最大の焦点です。市議会議員の本来の仕事を確認し、その仕事が生かせるよう、果していける人数は何人か、また人口や財政、市域に見合った定数かどうか等の視点が大事だと考えています。

8月には、昨年度定数を14人に削減した瑞浪市議会（令和6年人口3万5519人）を訪問し、その背景や手続きをお聞きしました。9月には中京大学総合政策学部学部長の今井良幸教授から「議員定数の考え方」なども学びました。11月を皮切りに、市自治会連合会各支部長さん等からご意見をお聴きする予定をしています。

市民の皆さんのご意向に沿いながら、地方自治の二元代表制（市長と議会）において、今日の時代に相応しい形と質で議会が役割を果たしていくため改革を進めます。公聴会やアンケートなども行います。ご参加、ご意見をよろしく願います。



今井良幸教授



上田元市議

特別講演会で、議員定数の考え方や議会基本条例の精神について聴講しました

濃飛横断道整備促進特別委員会

濃飛横断自動車道は郡上市と中津川市を結ぶ延長約80kmの高規格道路であり、令和5年4月から堀越峠道路約5.9kmが国による権限代行業業で、和良工区約4kmが岐阜県により、それぞれ事業着手されています。

5月29日には、下呂市で濃飛横断道・三市一村(郡上市・下呂市・中津川市・東白川村)議会委員会合同会議第1回幹事会が開催され、令和6年度事業計画等について協議を行いました。

7月8日には、堀越峠道路の起点(八幡町初納)及び終点(八幡町入間)と、和良工区(和良町横野・沢・下洞)の現地視察を行いました。

また、東白川村で濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会、岐阜県議会濃飛横断自動車道建設促進議員連盟、濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議による合同促進大会が開催され、要望の決議や、三市一村の各首長から国会議員等に対する要望書の交付が行われました。

8月22日には、下呂市で濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議第2回幹事会が開催され、県選出国会

議員に対する要望活動等について協議を行いました。

8月26日には、下呂市議会濃飛横断道・リニア特別委員会と合同で堀越峠道路の起点の視察を行い、岐阜県郡上土木事務所から説明を受けました。

10月11日には、下呂市で濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議が開催され、要望活動等の決議を行うとともに東海旅客鉄道(株)中央新幹線岐阜東工事事務所、岐阜県リニア推進事務所、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所、岐阜県郡上土木事務所による講演が行われました。



濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議 (10月11日 下呂市にて開催)

国及び県行政機関への要望

事業の促進や新規採択などの来年度予算確保に向けて、県議会議員及び市長とともに、議会から議長・各常任委員長が参加し、以下の要望活動を行いました。

中部地方整備局・岐阜国道事務所

日程 令和6年9月3日  
内容

- ・濃飛横断自動車道「国道256号堀越峠道路」の事業推進と和良工区事業推進に対する支援
- ・東海北陸自動車道「飛騨清見IC」白川郷IC間のうち、今年度事業化された4.3kmの区間の事業推進と未事業化区間の早期事業化
- ・一般国道156号「郡上大橋」架替の事業推進
- ・一般国道156号「白鳥町大島地内」歩道整備の事業推進
- ・一般国道156号雨量規制区間解除、規制基準緩和に向けた防災工事の事業推進
- ・一般国道156号の冬期間における除雪対策等による安全通行の確保等

岐阜県農政部

日程 令和6年9月4日  
内容

- ・県営基幹農道整備事業(大和明宝地区)の令和7年度新規採択



中部地方整備局での要望活動



岐阜県農政部での要望活動

# 郡上の課題を問う



## あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。9月定例会の一般質問に14名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTube での一般質問録画配信も行っております

●郡上市 HP > 郡上市議会 HP > 一般質問録画配信 からご覧いただけます。



YouTube

### 一 般 質 問 一 覧

	議員名	質問事項		議員名	質問事項
1	山田智志	1. 命を守るために 2. 郡上を守るために	8	田中義久	1. 副市長2人制について 2. 健康長寿の里・郡上づくりについて 3. 濃飛横断自動車道の地域振興効果の最大化について
2	蓑島正人	1. 森林境界明確化を用いた地籍調査について 2. 地震への備えと上水道の耐震化対策について	9	和田樹典	1. 郡上市の観光振興について 2. 有機フッ素化合物について
3	原喜与美	1. 長良川鉄道の今後のあり方について	10	北山浩樹	1. 消防本部における諸問題について
4	大坪隆成	1. 郡上偕楽園新築移転計画について 2. 介護保険サービス特別会計について 3. 居宅サービス体制の現状と課題について	11	清水敏夫	1. 市財源確保（ふるさと納税）の取り組みは
5	田代まさよ	1. ほ場整備のその後について 2. 郡上市民病院について 3. 男性の育児休業について	12	長岡文男	1. サルの被害の現状と対策について 2. 高校生の就学支援について
6	池戸郁夫	1. 郡上市総合計画について	13	有井弥生	1. G-クレジット制度の今後の活用について 2. 郡上市産業連関表の活用状況について
7	みずのまり	1. 「郡上おどり」と行政の関わり方について	14	野田かつひこ	1. 健康保険証廃止への対応は

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。



山田 智志

# 前立腺がんを早期に発見できる 検診を本市でも

問

健康福祉部長 国が推奨するがん検診には  
前立腺がん検診は含まれていない

県内約8割の市町村が実施している前立腺がん検診の実施を  
田口健康福祉部長

国は、PSA検査は前立腺がんの早期診断に有用であるが、死亡率減少効果を判断する証拠は不十分であるとし、法的根拠、科学的根拠が証明されていない検診は提供しないことが重要としている。

このことから、前立腺がん検診を公共政策として実施することは適切でないと考える。

国民健康保険税の赤字解消を  
健康福祉部長

令和5年度の形式収支はプラスで、累積赤字はない。ただし、形式収支から基金繰入金、前年度繰越金等を差し引くと、実質単年度収支はほぼ毎年、赤字状態となっている。

平成30年度に税率改定

を行い、今年度まで据え置いたまま運営してきたが、結果として財政運営は厳しい状況である。

今後は、県が提示する標準保険料率に近い税率の採用などの検討が必要と考える。国保事業の運営に関わる協議会から答申を受けて協議を進めたい。

水道事業の赤字解消への取組みは  
遠藤環境水道部長

令和5年度、1mあたりの給水原価は231円、給水単価は140円で、料金回収率は約60%。不足分は一般会計から約4億円を補填している。

水道事業を健全に運営するために、今後、条例の改正などを行い、議会や市民の理解を経て、令和7年度に料金改定を目指している。



問

## 森林境界明確化を用いた 地籍調査に対する市の考えは

農林水産部長



袁島 正人

森林境界明確化と地籍調査の連携について市としてはどのように考えているか  
田代農林水産部長

現在の高齢地域での調査終了後は、平地部や住宅地での調査を優先すると聞いているが、地籍調査の必要性がある山林は、森林境界明確化で得たデータの活用によって地籍担当部署と連携した体制に努めたい。

地震への備えと水道の耐震化対策につ

地籍測量に係る、事務の軽減が図れるように地籍担当部署と連携した体制に努めたい

いは

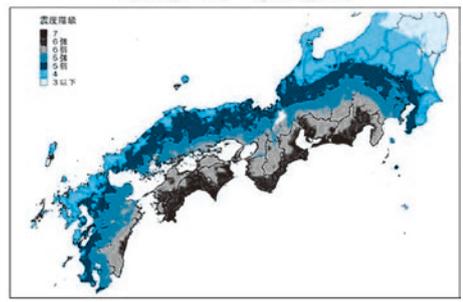
郡上の地域性を考慮し地震にどう備えるか  
山川市長

南海トラフ地震の震度予測では、市内全域が震度5強となり、一部震度6弱の揺れが予想されているため、水・食料の備蓄や建物の耐震化、家具の転倒防止など、日頃から備えを行っていただきたい。

郡上市水道施設の耐震化状況は  
遠藤環境水道部長

市としても耐震化対策は急務であると考えている。近年の物価上昇の影響により管財費も高騰するなど、

●想定される震度分布  
複数の想定されるケースの最大値の分布



引用：気象庁HP

当初計画に対し1年間にできる工事延長は短くなっている状況である。

「郡上市水道事業ビジョン」に基づく具体的整備計画を立てて、管路更新などの事業を進めており、この進捗に比例して、断水率も改善されていくものと考えている。

# 問 長良川鉄道の今後のあり方は

市長

過去の経緯を尊重し、方向性を見出すための行動を進めていく



原 喜与美

利用者の減少と市に  
対する修繕費などの年  
間の負担金が毎年2億  
円ほど必要。今後、負  
担額は増加していくと  
思われる。こうした状  
況下における長良川鉄  
道の今後のあり方は

山川市長

今までにも何度かこ  
の問題が論ぜられ、日  
置前市長は存続を前提  
に市民や沿線市町の関  
係者と協議を行い、方  
向性を探りたいと述べ  
ておられた。私の考え  
としては、学生や市外

へ移動する市民の重要  
な移動手段として、ま  
た、観光資源としての  
存続・維持を基本とし  
た上で、必要な見直し  
を長良川鉄道、沿線市  
町村に提案していきたい。  
一つは観光利用を  
目的とした乗客の比重  
を大きくすること、も  
う一つは長良川鉄道の  
社長を民間公募するこ  
と。これらの効果によ  
り沿線市町負担額の増  
減を検証し、今後の方  
向性を決めていきたい。  
考えられる選択肢とし  
て、現状の路線の存続・  
維持、人口減少などに  
伴う利用状況を踏まえ  
た路線短縮などがある。  
ただし、今年で90年が  
経過する路線を安全に

維持・存続するため  
は施設整備に多くの費  
用が必要となり、年間  
の負担額が財政を圧迫  
し、今後さらに負担が  
増加すれば一層深刻と  
なる。

一方で、本市が掲げ  
る観光立市政策におい  
て、鉄道の有無が大き  
く影響することは必然  
的である。

また、仮に路線の廃  
止・縮小となれば、長  
良川鉄道の沿線市町の  
意向を聞かなければな  
らない。



長良川鉄道として  
開業38年を迎える

# 問 郡上偕楽園の新築移転計画の 進捗状況はどうなっているか

市長 市の現状を総合的に判断し  
定員を減らした再計画を考えている



おおつほ たかなり  
大坪 隆成

新たな移転計画の方針  
や見直し内容は  
山川市長

物価高騰などの影響も  
あり現在では28億円との  
試算が出ているこの事業  
は、市の現状からは見直  
しが必要。

介護の必要度が高まる  
85歳以上の人口が想定以  
上に減少していること、  
支え手となる介護人材の  
確保が困難になること、

市内にある介護施設の稼  
働ベッド数が増加したこ  
とを総合的に判断し、特  
養の定員を51床減らして  
29床とし、大和第一北小

学校跡地の土砂災害イ  
ンゾーンにかかる区域  
を外した場所に地域密着  
型サービスとして建設す  
ることを考えている。

より有利な補助事業の  
利用や、今までの事業の  
活用も図り、令和8年度  
より建設に入りたい。  
居宅サービス体制の現状  
と課題について

市の指定管理制度で介

護サービスを実施して  
いる事業者の経営状況をど  
のように把握し分析して  
いるか

田口健康福祉部長

郡上市社協が指定管理  
者として運営を行っている  
8か所のデイサービス  
は在宅高齢者の減少など  
による利用者の減少が影  
響し、事業収支は厳しい  
状況となっている。

指定管理者と経営改革  
を進めるが、それでも経  
営が向上にならない場  
合は指定管理料の支払い  
について検討を行う。

また、地域の状況に応  
じては、公設のデイサ  
ービスの休廃止は妥当であ  
ると考えている。



建設予定地の大和第一北小学校跡地

# 問▶ 畦畔ブロック除去の際の負担軽減を



たしろ 田代 まさよ

## 建設部長 個別の区画の畦畔ブロックの撤去を 公共事業としての実施は困難

三輪建設部長

受益面積が10ha以上や担い手の経営面積シェア率の増加などの採択要件を満たすことにより、かがい排水や農道整備と組み合わせた中の1工種として公共事業で実施することが可能となる。また、担い手への集積率を高めることで分担金を支援する事業が活用でき、負担軽減が可能となる。

将来の地域農業の形態を見据えた「地域計画策定」の取組みの中で、将来展望などを話し合い共有することにより、ほ場規模の大区画化、農業用水、農道整備の事業化につながることも想定されるので検討いただきたい。

**市民病院産科の特徴や強みは**

藤田市民病院事務局長

世界保健機関が推奨する「赤ちゃんにやさしい病院」として2009年に認定を受けた。この認

定の医療機関は、岐阜県内において岐阜県総合医療センターと当院の2病院となっている。

当院では、「母乳育児支援の方針」に基づき妊娠中から母乳栄養の利点と母子間のスキンシップの大切さ、母乳育児の楽しさを伝えている。分娩後は赤ちゃんの哺乳意欲に合わせての「早期授乳」を実施。

近年の出産年齢の高齢化、不妊治療の増加、ハイリスク妊娠の増加に伴い医療介入も増加しているが、母親の気持ちを汲み取りつつ、不安要素を取り除きながら、「母乳育児の支援」を行っている。



授乳するお母さん

# 問

## 郡上市総合計画の 達成度と検証方法は

市長公室長



いけと 池戸 郁夫

行政点検を行い自己評価、数値目標として指標を立て達成状況を検証

る作成を考えているか

山川市長

課題をスピーディーに解決するため、行政と市民が共に取組むことが必要である。若者会議などで若者の見つける未来に耳を傾け、計画策定に向けて開催する「郡上みらい会議」で若者会議などからの提案に議論を深め、基本構想に盛り込みたい。次期計画は、市民協働で策定するというプロセスを重視し、バックキャストイングの手法を取り入れることも考えていた。

市長と成りてから初めて今後の大きな方針を示すものとなり、皆さんの意見を十分反映できるように考えていきたい。

河合市長公室長  
施策の成果や事務事業が効果的かどうかを自ら点検する行政点検を毎年実施するとともに、外部評価委員会による評価を受けている。  
**満足度調査とフィードバックについては**

市長公室長

2〜3年おきに市民アンケートを実施し、ご意見や満足度を把握している。その結果は各部課長に伝えている。

次期計画の作成はどのようなプロセスによる

短期実施計画の作成について

市長

総合計画の基本構想



令和元年のみらい会議の様子

# 問 「郡上おどり」と行政の関わりは

市長 市民と行政のあり方、

皆の意識改革が必要



みずの まり

今後の地域社会は、人口減少と高齢化により財源と人材が限られる厳しい時代を迎える。郡上おどりに多くの市職員が出演するが、行政の負担になつていないか

山川市長

踊りの会場では、夜遅くまで一生懸命取り組む職員の姿を見ている。旧八幡町時代から、職員は大変よく働いてきた。郡上おどりを支えるその気持ちに頭が下がる。

市が運営を担っている現状ではあるが、今後は関係する団体に協力をいただきながら、市民の皆様の関与を高めていく方針である。

例えば、市職員が担っていた当日のスタッフ業務について、今年度から関係団体からも出演をお願いした。

また、踊り会場の開催地区への支援策として、地元高校生や踊りファンの方々に屋形曳を応援していただくボランティアも始まり、延べ311人のご協力をいただいた。

踊りの協賛金、協力金の募集も始められた。新たな運営の担い手として、郡上青年会議所



観光課より  
郡上おどり保存活用計画

が今年で2回目となる変装おどりを開催した。郡上おどりを通して、市民と行政のあり方など、皆の意識改革が必要である。

保存活用計画に沿って、郡上おどりを孫の世代まで続けていくために、こういった取り組みを一歩ずつ確実に進めていく。

# 問 市長が目指した副市長2人制の効果はでているか



たなか よしひさ  
田中 義久

副市長2人制のプラス効果、マイナス効果、また理想形は何か  
河合市長公室長

市長 所管は分担し、重要政策は市長・副市長一緒に素早く方針を出す

担当する事務業務を分担しているので決裁や打ち合わせなどをスピーディーに行うことができ、事業推進力の強化につながっている。重要案件は両副市長が共同で担任することとしており、2人の知見の中でアドバイスを指導を得ることができている。

デメリットは、2人の考え方や意見が違う場合に、職員から迷いや不満が出たり、矢継早に指示が出る。現場職員の負担になる。理想形は、担当部との意思疎通を図りながら高度な判断や見直しを行うことだと思う。

健康長寿の郡上づくり  
旧和良村が地域医療で男性長寿日本一に輝いたように健康長寿を重点施策にしては

山川市長

今日問題となっているのが長生き病と言われる認知障害で、それを含めて予防することで皆が楽しく生きていけるいわば「健康立市・郡上」になる。予防活動は行政だけでなく、市民の皆様にも意識改革をお願いして私も「健康立市・郡上」を作りたい。

濃飛横断自動車道の地域振興効果を最大に  
置田副市長

濃飛横断自動車道は和良地域にとって大きなチャンスであり、地域振興に活かす絶好の機会である。本市の東の玄関としての機能と魅力を高める「和良地域振興施設構想」を策定し、庁内全体で推進するよう全力で取り組む。



工事が進む濃飛横断自動車道・中津川工区



和田 樹典

# この夏の郡上おどりの入込客の実績は

商工観光部長 当初昨年並の30万人をめざしていたが、25万5600人となった

今後の観光客誘致に向けては  
粥川商工観光部長

今年度の郡上おどりの入込客数の実績は約25万人で、そのうち徹夜踊りは16万人であった。本年度の見込み客については30万人を目指していたが、昨年度よりも減少となった。

理由としては、雨や猛暑もあつたほか、お盆期間がすべて平日であったことも要因の一つと思われる。

地元住民の踊り離れや踊り会場の担い手不足を今後どうするのか

商工観光部長

屋形曳については、地元高校生や踊りファンの方々に向けてボランティアを募集し、結果、延べ311人のご協力をいただいております。また、踊り当日のスタッフについても、今年からは郡上おどり運営委員会の関係団体からも出役していただき、踊り客などからの問い合わせや緊急時の対応、会場情報の共有および、確認などの対応を行った。

また、踊り当日のスタッフについても、今年からは郡上おどり運営委員会の関係団体からも出役していただき、踊り客などからの問い合わせや緊急時の対応、会場情報の共有および、確認などの対応を行った。



郡上おどりの切子

水道水源におけるPFAS有機フッ素化合物に対する水質検査の実施は遠藤環境水道部長

市内61か所の水源の内、8か所について検査を実施した。すべての水源でPFASは検出されなかったが、この8か所以外の53か所についても検査を実施する。

検査費用が高額なことから、今後3年間の計画で残りのすべての水源の検査を実施する予定。

# 消防本部の人員不足など諸問題は

市長

来春から増員は考えている、日常災害の手当についても改善に向けて取組みを進める



北山 浩樹

慢性的な人員不足による時間外労働勤務の増加や、救急出動に際しての諸問題、また出動手当の改善、災害に迅速に対応するための消防署の適正配置など、市消防本部の諸問題についての市長の考えは

山川市長

当直勤務者は勤務明けの翌日に、たくさん残っている仕事が残っているために、残務処理、避難訓練、予防査察、各種研修などを実施しているのが現状である。

救急出動に際しては、災害出動規程等に沿って出動しているものの、署所の残留職員数が少ないため、次の出動体制が図れない場合も多々あり、能登半島地震のような大規模災害が発生した場合は、要請により、緊急消防援助隊を派遣しなければならぬ。その際に当直勤務者を確保するため、一時的に東詰所を閉鎖した経緯がある。

この広い地域において、隅々まで目を配って、命を救うということとは非常に大切なことだ。

外部機関を利用しての見直しは必要であるが、財政の問題から、まずは消防本部の方で、類似団体の状況、出場状況を踏まえた勤務体制やそれに必要な人員増員枠についても考えていきたい。

日常の災害事案に対しての手当も、県下で低いことから、改善に向けて取組みを進めていきたい。

私も、医師出身である以上、命を守るということには、全力を挙げたいと思う。増員は来春の採用から増やすということに、私の心の中は決まっている。



全国消防イメージキャラクター「消太」くん

## 問

# 市外の高校に通学する生徒への 支援（通学費助成制度）は

市長

市外の高校に通学する生徒も

分け隔てなく支援する



ながおか ふみお  
長岡 文男

現在の通学費助成制度は、市内2校の高校へ通学する学生限定であり、市外の高校に通われている方は、同じ郡上市の高校生でありながら、助成制度を受けられない不公平感のある制度である。

将来を担う若者に公平な支援策は考えられないのか

山川市長

社会全体で子育てを支援するということは重要なことであり、来年度予算については、

若者へのシフトを考えている。

現在、この費用を支給している方に加え、バランスのとれた形で、市外に通う子どもたちにも同じように、郡上の子どもであるという立場で考え来年度の予算に盛り込みたい。

民家付近のサル被害の対策について（人や生活環境への被害）

子どもや高齢者がサルの被害を受けず安心して暮らすため、追い払い対策や野生動物が隠れる場所（ブッシュ、林）の刈払いも有効と聞かすが、そうした活動への積極的な支援や新たな対策は

市長

捕獲による頭数調整を行うことが最も効果的であると考えており、これからも重点を置くべきと考えている。

今後は二ホンザルの捕獲の奨励金を増額するなどの検討を行い、防護柵などの予算の配分についても考えていくことが大切なのではないかと考えている。



美濃太田行き列車に乗り込む高校生

## 「ふるさと納税」の増収への 戦略と目標額は

市長

令和9年度に9.5億円をめざして  
返礼品の拡充など最大限取組む



しみず としお  
清水 敏夫

山川市長

個人版のふるさと納税が増えれば市の収入も増加し、返礼品の提供も生まれ地元業者への恩恵も大きく期待できる。市も自主財源が得られるので、既存事業の補てんに充てるのではなく、これからの郡上市づくりに活用したい。

市のふるさと納税受入額を東京のコンサルティング会社が精査、試算したところ、令和7年度に1.1億円、8年度に6.5億円、9年度には9.5億円程度とすること。市として、具体的にどう進めていくかの課題はあるが、現在市の返礼品300程度を600品目に拡充したり、市を代表する肉製品、飛騨牛、木工品などに体験型商品をセットしたりするなど、市民のアイデアも募集したい。

また、広報11月号にふるさと納税をお願いするはがきを入れるので、市

外の兄弟や親戚に発送いただき郡上への応援をお願いして欲しい（切手代をご負担ください）。

私も市長としてあらゆる機会にトップセールスを実践しており、今後もしっかりとお願いする。

企業版ふるさと納税の

取組みは

河合市長公室長

企業版ふるさと納税の獲得に向けて、市と企業を結ぶマッチング支援業務を市内業者と契約し進めているが、本年5月に成果報酬の上限額（500万円）を見直し撤廃した。すでに5件800万円の寄附が得られるなど、着実に成果が見えている。



返礼品の特産品詰合せ（野菜セット）



ありい やよい  
有井 弥生

# 林業のG-クレジット制度等の 活用の可能性は

問

市長 令和12年度からクレジットとして  
販売可能であり活用方向である

G-クレジット制度及び  
J-クレジット制度の  
取組み状況は  
田代農林水産部長  
G-クレジット制度は  
岐阜県独自の脱炭素社会  
ぎふ・森林吸収量認証制  
度であり、森林による二  
酸化炭素吸収量をクレジ  
ットとして県が認証する  
新しい制度である。  
国が認証するJ-クレ  
ジット制度では、市内を  
含む登録は4件ある。  
また、本市は現在、二  
酸化炭素の排出量が吸収  
量を上回っている状況で  
ある。

山川市長  
市の9割が森林であり、  
クレジットを販売できれ  
ば本市の林業施策  
の大きな財源とな  
る。令和12年度に  
は省エネルギーな  
どによる削減量と  
再生可能エネルギー  
導入による削減  
量を計画的に達成



G-クレジット制度のリーフレット

郡上農林水産部長  
郡上ふるさとコイン発  
行額1億円に対する経済  
波及効果や、観光分野に  
おける北陸新幹線延伸に  
よる外的好影響の推計に  
活用している。  
本年度は、専門家を講  
師とした職員向けの研修  
会を予定している。

郡上農林水産部長  
郡上ふるさとコイン発  
行額1億円に対する経済  
波及効果や、観光分野に  
おける北陸新幹線延伸に  
よる外的好影響の推計に  
活用している。  
本年度は、専門家を講  
師とした職員向けの研修  
会を予定している。

問

# 健康保険証廃止への対応は

健康福祉部長

利用に慣れ、期限が来れば  
カード利用率は上がる



の 野田 かつひこ

市の最新のマイナ  
バーカードの取得率、  
保険証利用の登録率、  
マイナ保険証の利用率  
はどのようか  
田口健康福祉部長  
市の7月末でのマイ  
ナンバーカードの交付  
率は83%、国民健康保  
険でのカードへの登録  
率66%、利用率15%、後  
期高齢者医療保険では  
登録率56%、利用率  
10%である。  
今後、カード利用に  
慣れていただき、現在  
の保険証廃止や保険証

の有効期限を迎えれば、  
利用率は上がるものと  
考えている。

保険証廃止の12月2  
日以後、資格確認書の  
交付対象者をどのよう  
にする予定か  
健康福祉部長  
交付対象者は、国民  
健康保険及び後期高齢  
者医療保険の保険証の  
マイナカード利用登録  
をされていない方を想  
定している。

資格確認書の発行は  
申請型かプッシュ型  
(市から郵送される)  
か。また、申請を要す  
る場合の問題点は  
健康福祉部長  
資格確認書はマイナ  
保険証を所持されてい  
ない方に対して、プッ

ただし、マイナ保  
険証所持者でも、顔認  
証が難しいなど受診す  
る際に支援を要する方  
には、申請により資格  
確認書を交付する予定  
である。

資格確認書の発行の  
時期、有効期限は。期  
限終了後はどうなるの  
か  
健康福祉部長  
現行の保険証は来年  
の7月31日まで有効な  
ので、資格確認書はそ  
れに合わせて発行する  
有効期間  
は1年間。  
以後毎年  
発行する。



マイナ保険証(サンプル)

# クイズの答え 《 第81号出題 》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は67件でした。  
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は **正解は 問1 ③おむつ 問2 ①議会改革特別委員会 問3 ①10月**

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。  
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

## 皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・ご感想の中から、一部を要約して紹介します。

- 初めに議会だよりを見ました。字が小さいけど頑張って読みました。おむつのサブスクが始まったとか、浴衣で議会をしたなんて知らなかったもので、郡上市のことに興味を持ちました。 美並 11歳
- 子育てをしているので、オムツのサブスク推進は大変助かります！私は美並町出身で、子どもが産まれたためこちらに帰ってきたのですが、八幡や白鳥に比べて親子で遊んだり、親同士が交流できたりする機会がもう少しあればいいなと感じています。 美並 29歳
- クイズがある為、議会だよりを楽しく見ることが出来ます。これからも楽しみにしています！ 美並 44歳
- 「議会だより」毎号興味深く拝読しています。紙ベースに加えてPDF版が読めるのもありがたいです。議会だよりを読むよう

になって、議会の一般質問のYouTubeも視聴するようになりました。紙面で伝えきれない、議員の皆さんの郡上を思う志が垣間見えました。ご多忙の中と思います。今後とも是非配信を続けていただけたら嬉しいです。

- 経済的に大変な時なので、学校給食が無償化されるとてもありがたいです。 美並 48歳
- おむつのサブスクですが、現場の声をしっかり聞いていただけなのでしょう？知り合いの保育士さんから聞いたには、手間が増えてその分仕事が増えて不評のようですが…。 大和 55歳
- 議員さんと市民が交流できる機会があるというのはとても良いことだと思います。 八幡 58歳
- 2か月おきの議会だよりが楽しみです。郡上のいろんな情報が分かります。クイズも楽しみです。 八幡 64歳

● 毎月初めに配布して下さる広報郡上を楽しみにしています。郡上市議会だよりも興味深く読ませていただき、より身近に感じています。 八幡 66歳

- 毎回読ませていただいています。議会の状況がよく分かり、また、各議員の質問及び市の回答については興味深く見えています。これからも、より一層開かれた議会になることを望みます。 白鳥 66歳
- 6月に行われた定例議会に、全員が「ゆかた」で議会を行ったとのこと。郡上らしくて大変良いと思いました。 八幡 79歳
- 毎日とても暑いですが。年寄りは大変です。でも、動かなくてはお腹が少しづつやっています。「みょうが」が出てきたので採ってきて、みょうがご飯を作って食べました。とても美味しかったです。みょうがと人参、あげを薄切で味付けしてご飯に混ぜると、さっぱりして食欲が進みました。 美並 83歳

# クイズに答えて 郡上市共通商品券を ゲットしましょう!



**問1** 郡上市政施行から今年は何年になるでしょうか?

- ①20年      ②25年      ③30年

**問2** 市内のキャッシュレス決済の名前は何でしょうか?

- ①郡上里山コイン      ②郡上ふるさとコイン  
③郡上にぎわいコイン

**問3** 濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議における三市一村とは次のうちどれでしょうか?

- ①下呂市・高山市・郡上市・白川村  
②下呂市・中津川市・恵那市・東白川村  
③郡上市・下呂市・中津川市・東白川村

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

### 応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。二次元バーコードからでも応募できます。当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。



### ご意見は

ご応募に合わせて皆さまの声も是非お寄せください。お寄せいただいたご意見の一部について、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

### あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地  
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821  
締め切り：令和6年11月26日(火) 当日消印有効  
※ご応募いただいた個人情報は目的以外に一切使用いたしません。  
※皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員及び市長はじめ執行部に報告させていただきます。

## 表紙写真説明

牛道小学校では、今年度は人権推進校として、様々な取り組みをしています。

地域のボランティアの方々にお手伝いをしていただき、一人一プランターに種をまきました。子どもたちが毎日水をやり、肥料をまいて大切に育てました。夏休み前には校舎前にひまわりの花が咲きそろいました。

また、牛道地区をひまわりでいっぱいにしてと牛道全戸にひまわりの種を配りました。子どもたちは地域に咲いているひまわりの花を見ながら、登下校をします。一人ひとりを思いやる気持ちをもった子に成長してほしいと願っています。



ひまわりに見守られながら登校する子どもたち  
プランターへの水やりは毎日の課

## 12月定例会の予定

月日	曜日	会議の内容
11月21日	木	議会運営委員会・全員協議会
11月22日	金	総務常任委員会協議会
11月25日	月	産業建設常任委員会協議会
11月26日	火	文教民生常任委員会協議会
12月2日	月	開会
12月3日	火	予算特別委員会・本会議
12月6日	金	一般質問
12月9日	月	
12月10日	火	
12月12日	木	総務常任委員会
12月13日	金	産業建設常任委員会
12月16日	月	文教民生常任委員会
12月19日	木	議会運営委員会
12月20日	金	閉会・全員協議会

※開会時間は原則9時30分です。  
日程・時間は変更になる場合があります。

## 編集後記

議員となり半年が経ちました。全てが初めてのことがばかりで毎日があっという間に過ぎていきます。日々新しい出会いや知識を積み重ね、ひとつひとつに真摯に取り組んでまいりました。

市内には地域の未来を真剣に考え、取組んで下さる方が大勢みえます。その方達の声をちゃんと市政に届けられているか、

18人の議員に相談しようと思っただけで、どれくらいみえるのかと考えてしまいます。

10月の土曜日、5日・12日・26日の3回に渡り、郡上の未来について語る「議員と語るう会」を開催しました。確かに議会や議員の活動は見えづらい部分もあります。まずはこの議会だよりを通じて、関心をお持ちいただければと思います。

## 広報広聴 特別委員会

- 委員長 野田かつひこ  
副委員長 本田 教治  
委員 藪島もとみ  
田代まこと  
山田 智志
- みずのまり  
和田 樹典  
有井 弥生  
北山 浩樹



ぎや  
ファクス

